

## 専門部会議事内容結果（要旨）

専門部会名	第3回保健医療福祉部会
開催日時	平成 28年 3 月 17日 18時 30分 ~ 19時 55分
開催会場	名寄市立総合病院 2階会議室
出席委員	深井部会長、姉崎副部会長、稲場副部会長、佐久間委員、三谷委員、中尾委員、尾針委員
事務局出席者	田邊部長、岡村部長、江尻次長、馬場室長、鈴木課長、廣嶋所長、佐々木課長、石橋課長、田上課長、柴野主幹、荒井課長、宮越参事、渡辺主幹、土屋主幹、橋本主幹、沼田主幹、鯖戸係長、菊池主査
審議事項	<p>主要施策の体系（主要施策と基本事業）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康の保持増進</li> <li>・地域医療の充実</li> <li>・国民健康保険</li> <li>・子育て支援の推進</li> <li>・地域福祉の推進</li> <li>・高齢者福祉の充実</li> <li>・障がい者福祉の推進</li> </ul>
発言内容	<p>★ 健康の保持増進 意見なし</p> <p>★ 地域医療の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■（委員） 短い文章で簡潔に要領よくまとめられていると思う。</li> <li>■（委員） 地域医療機関相互の連携強化で、地域包括ケアシステムの役割分担とあるが、地域包括ケアシステムがあり、医療機関などの役割などが包含されると理解している。これでは、基本事業の中に入り込んでおり、順番が逆ではないか？</li> <li>○（事務局） 地域医療の部分のみであり、包括ケアシステムの中では医療は一部になるので、こちらに組み込ませていただいた。</li> <li>■（委員） 医療の充実ということだけでは、介護は入ってこないわけだが、高齢介護の施策をみても医療との連携や包括ケアシステムという文言が入ってこない。どちらかに包括した形で入れ込まなければ、包括ケアが医療のみとなり、介護がないことになる。</li> </ul>

- （事務局） 高齢者福祉の充実の現状と課題の中で記載をさせていただいた。
- （委員） 基本事業の中に、医療、介護両方若しくはどちらかに、包括ケアシステムという文言を入れていただき、医療と介護をつないでいくようなシステムの構築が必要であるため検討をお願いします。
- （委員） 医療スタッフの確保（特に看護師）について、北海道ナースセンターとの連携をしているのか？名寄市独自で看護師確保を行っているのか？資格を持っているが、結婚出産で復帰できていないのではないか。そのような方に対する取り組みがあれば聞かせて欲しい。
- （事務局） 市立病院の取り組みでは、休職後、復職支援は行っている。今年度も看護部が主体となり3回実施している。全体的に看護師確保は、民間も含め厳しい状況が続いている。医療スタッフの確保については、少し欠けていたかもしれない。
- ★ 国民健康保険  
意見なし
- ★ 子育て支援の推進
- （委員） 市内の待機児童はどのような状況になっているのか？
- （事務局） 求職活動の方は入所調整で待ってもらっている。年度末異動の時期であり、転入者で保育が必要な方に対応できるよう、余力をもった状態としている。稼働中の方で待機している方はいない。
- （委員） お出かけバスツアーについて、日進地区の一部の方しか知らない状況であると聞いた。老人クラブの方は知っているが地元住民は知らず、何のバスが来ているかもわかっていない。日進地区は声をかけると、大半が参加し、きめ細かく協力してくれるので、地域の方に協力依頼、声かけをしていただけないか。
- （事務局） 日進保育所が平成19年12月から休所していた。施設が新しくなったことから、有効活用するために平成24年からバスツアーを開始した。平日午前中に弁当を食べて帰ってくる事業であることから、老人クラブに協力依頼をして実施している。収穫祭などの行事には、日進地区の農家に協力していただいている。農繁期などは難しいかもしれないが、期待していただいているのであれば、お声掛けさせていただきます。
- （委員） 広報活動、周知の方法などを記載できるようにお願いしたい。

★ 地域福祉の推進

- （委員） これまでの、基本事業の書き方「生活困窮者」を「生活に困っている人」へ変更したことは大変良いと思う。

★ 高齢者福祉の推進

- （委員） 新聞報道で、清峰園は定員の80パーセントの入所となっており、介護士不足が原因となっていた。資格の有無などもあるが、基本事業に介護人材の養成を明記することはできないか。

- （事務局） 基本事業1 介護保険サービスの推進の中に、介護人材の確保について記載はしている。人材養成については難しいと考える。市内事業所と意見交換を行っていきたいと考えている。

- （委員） 現状と課題で65歳以上の高齢者数は平成32年まで増加し、その後減少と記載があるが、人口そのものが減少するのか

- （事務局） 推計では平成32年に高齢者人口がピークになる。しかし、総人口が減少するため高齢化率は下がらない。

★ 障がい者福祉の推進

意見なし

その他

- （委員） 健康の保持増進の感染症対策の推進の現状と課題・基本事業で情報収集や予防対策を行うこととなっているが、中身を見ると2本に分けた方が良いかと感じた。感染症の括りが大きい、中身が混在している。この先、結核、エイズが問題となりそうであることから、「結核・エイズ」は別に明記した方がよいのではないか。又、健康づくりの推進で、生活習慣病の予防など若い世代の健診についても記載されていることから、さらに若い世代について、教育的な部分はあるが、食育などもあることから低年齢者に触れてもよいのではないか。

- （委員） 結核、エイズなどは分けておく必要があるかもしれない。また、食育などは、教育的なこと含めて対応していく必要があると思う。組み込めるのであれば、文言整理を行い明記していただければと思う。

	<p>○（事務局） 1次計画では感染症予防と予防接種に分けているが、一体的に事業を行っている。ご意見を受けて、再度検討させていただきたい。食育は他部会でもそれぞれ関係する部分を検討し、明記することとなっているので、その中で対応していきたい。</p> <p>今後の日程について</p> <p>○（事務局） 本日のご議論をもって、施策体系を事務局でまとめていく。今後、重点施策などと併せて総務部会でまとめて、審議会で市長に答申となる予定。本部会での議論をまとめて、委員の皆様には資料をお送りしたい。その後、ご意見があれば再度部会を開催するが、本日で保健医療福祉部会を終了する。</p>
<p>決定事項等</p>	<p>議論いただき、ご意見をいただいた部分は文言整理をする。 修正後、委員に再度資料を送付させていただき、ご意見があれば再度部会を開催するが 今回で保健医療福祉部会を終了する。</p>